

活動名称 (40字以内)	インド体験活動 -インド工科大学での日本語授業サポート・インド赤門会との交流-		
団体名等	東京大学インド事務所・インド赤門会・大学院工学系研究科日本語教育部門		
活動区分	<input type="checkbox"/> ボランティアなどの社会貢献活動	選考方法	<input type="checkbox"/> 先着順
	<input checked="" type="checkbox"/> 国際交流体験活動		<input checked="" type="checkbox"/> 書類審査
	<input type="checkbox"/> 就労体験活動	募集人数	<input type="checkbox"/> 面接
	<input type="checkbox"/> 農林水産業・地域体験活動		8人
	<input type="checkbox"/> フィールドワーク体験活動		
<input type="checkbox"/> 研究室体験活動			
参加資格等	学部学生		
活動期間	2020年2月	～	2020年3月
	9	日間	
主な活動場所	インド工科大学Kanpurとその近郊およびアグラ、ニューデリー		
目的	インドで既成概念にとらわれない、チャレンジ精神を養う。インド工科大学カンプール校(IIT-K)で日本語授業サポート、学生交流により異文化を理解・尊重するグローバル意識を育てる機会を提供する。インドの世界遺産(タージマハル)の見学などによって、インド文化、伝統、歴史などの理解を深め、さらにインド赤門会先輩諸氏との交流を通じてインドでのビジネス環境を知り、視野を広める。		
具体的な内容 (800字程度)	<p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・IIT-Kの日本語教室の日本語授業サポートを通して、インド人学生と交流を深め、インド文化の理解を深めると同時に、日本、日本語について振り返り、日本語教育の意義やあり方について考える機会とする。</li> <li>・IIT-Kの学生と共に講義に参加、寮に宿泊し、食事などを共にすることによって、留学の意義を考え、自己研鑽の楽しさを体験する。</li> <li>・世界遺産であるタージマハルを見学し、インド文化、伝統、歴史などの理解を深める。</li> <li>・インドで活躍するインド赤門会先輩諸氏との交流を通じて、今後のキャリアについて視野を広める。</li> </ul> <p>【日程】</p> <p>2月24日(月) 成田発 →デリー→カンプール着                  2月25日(火) IIT-Kの授業に参加 日本語授業ボランティア                  2月26日(水) IIT-Kの授業に参加 日本語授業ボランティア                  2月27日(木) IIT-Kの授業に参加 日本語授業ボランティア                  2月28日(金) IIT-Kの授業に参加 日本語授業ボランティア                  2月29日(土) カンプール近郊見学                  3月1日(日) タージマハル観光、アグラ城観光 → デリーに移動(デリー泊)                  3月2日(月) 日系企業見学、赤門会との交流会、デリー発→成田着 *3月3日(火)</p>		
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本企画は工学系研究科日本語教育部門と東大インド事務所・インド赤門会との協同開催である。</li> <li>・事前オリエンテーションの参加は必須である。第1回のオリエンテーションは、6/27(木) 19:30-20:30(工学部8号館1F会議室)に実施予定である。</li> <li>・インド工科大学(Indian Institutes of Technology)は、工学と科学技術を専門とする、インドの16の国立大学の総体でありKanpur校はその一つである。高い研究・教育水準で国際的にも認められている。IIT-Kは工科大学ではあるが、人文社会系の専攻も備えており、文系も受け入れることができる(WEB参照)。</li> <li>・成田・ニューデリー往復フライトを後日、推奨する。他の航空会社を利用する者は、現地空港に集合時間までに到着のこと。</li> <li>・宿舎、車はプログラム企画団体の指定とする。</li> <li>・滞在期間中の参加者各自の安全管理と健康管理にはプログラム企画団体ガイドのアドバイスに従い、十分気を付けること。</li> <li>・A型肝炎の予防接種を推奨</li> <li>・日程は変更の可能性有り</li> </ul>		
参加するための費用※	内 訳(1名当たり)		その他※特記事項は以下に記載
	航空運賃	実費 円	
	宿泊費(相部屋)	15,000 円	
	インド内交通費	15,000 円	
	食費	15,000 円	
	計	円	
奨励金額	70,000		円
ウェブサイト等	工学系研究科日本語教育部門: <a href="http://www.jlcse.t.u-tokyo.ac.jp/">http://www.jlcse.t.u-tokyo.ac.jp/</a> インド工科大学カンプール校: <a href="http://www.iitk.ac.in/">http://www.iitk.ac.in/</a> 東大インド事務所: <a href="http://www.indiaoffice.dir.u-tokyo.ac.jp/jp/about/index.html">http://www.indiaoffice.dir.u-tokyo.ac.jp/jp/about/index.html</a> インド赤門会: <a href="http://www.indiaoffice.dir.u-tokyo.ac.jp/akamonkai/index.html">http://www.indiaoffice.dir.u-tokyo.ac.jp/akamonkai/index.html</a>		